

12月13日

生徒の日誌から

C. M

今日は、CCA最終日でした。日本語クラスの生徒と最初からスムーズに会話ができ、最初の日と比べてかなり成長していることが分かりました。プレゼンも全グループが無事に終わらせることができました。楽しい時間が過ぎていくのはあっという間で、今日でもうCCAの生徒たちとはお別れです。私たちがバスに乗っても走りながら手を振って見送ってくれたCCAのみんなを見ていて、自然と涙が溢れました。そして、今日は、ホストファミリーのみんなに good night をいう最後の日です。別れるのが悲しくて、たくさん泣いてたくさんハグしてたくさん写真を撮りました。

R. O

3日間CCAを訪問して強く感じたことがあります。それは、自分で考えてそれを発言したり、行動に移したりすることの大切さです。日本とは違い、アメリカでは積極的に手を挙げて、みんなの前で自分の意見を発表していました。そして、大学の面接や就職試験では、そのことがとても大事だと知りました。僕はアメリカで働きたいと考えているので、それを日本でも磨いていきたいです。

S. O

CCAはとても広くて設備が整っていて驚きました。CCAの生徒はとても積極的で、先生の質問に対し一人一人が考えを持っていて、見習いたいと思いました。プレゼンテーションでは、最初は緊張していたけれど、聞き手の反応がとても良くて、プレゼンをするのが楽しいと思うようになりました。良い経験になりました。

N. Y

日本語クラスで行なったプレゼンテーションは、緊張したけれどできるだけ大きな声ではっきり言いました。少し不自然だったと思います。でも、先輩が、「頑張った！成功だったよ。」と言ってくださって、安心しました。今日は、CCA生徒とホストファミリーとの最後の日でした。CCAの生徒は、「また連絡するね」と言って手を振ってくれました。ホストファミリーは寂しくて黙り込む私たちに「悲しむ必要はないよ」と言ってきて、逆に泣きそうになりました。